

Sustainable Report No.058

自動車部品を アップサイクル



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取り組みを行っています。

■ 自動車廃棄の現状

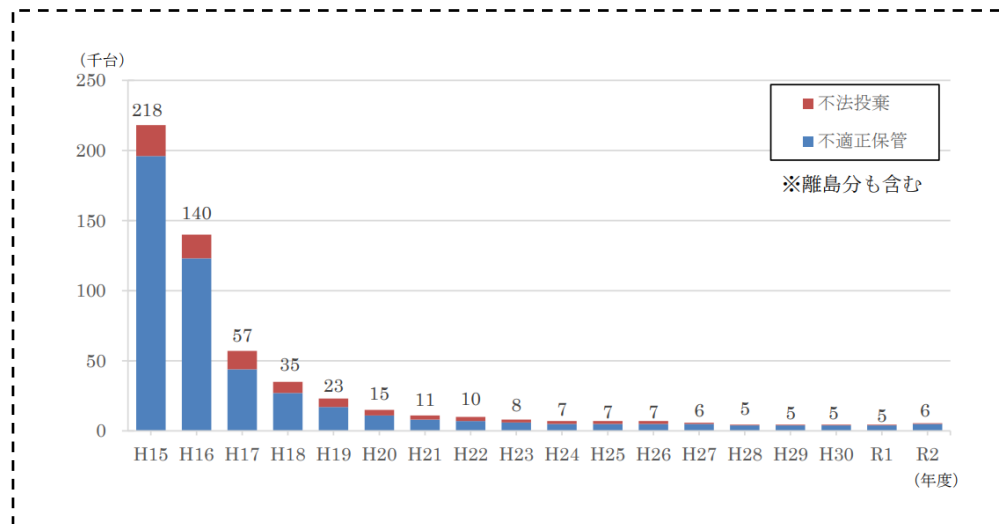
- 使用済み自動車の引取台数は、生産台数の約半分を占める年間315万台。**約6,000台は不法投棄・不適正保管**され適切に処理されていない。（令和2年度）
- 自家用乗用車の**自動車重量税は購入後13年経つと15%アップ**するため、増額前に手放したい人が多い。
- 適正処理されない使用済み自動車からの有害物質流出による土壌・地下水への汚染等に加え、自動車に使用されている鉄など**有用な金属や素材が活用されずに残されている**。

■ 不法投棄の車を撤去



出典：奄美新聞社

■ 全国における不法投棄・不適正保管の残存台数



出典：経済産業省、環境省

価値を活かす廃棄部品の有効活用とは

■エアバッグのアップサイクル

- **リサイクル会社である株式会社鈴木商会**は、社会課題解決に取り組む一般財団法人BRIDGE KUMAMOTOと総合企画会社である株式会社スコープと連携してアップサイクルを実施。
- 特殊な素材のためリサイクルが難しかった**エアバッグをMA-1ジャケットにアップサイクル**し、特性である**耐久性や保温性の高さ**を活かして2022年2月より社員のユニフォームとして用いる。
- エアバッグの素材はコーティングされた複合繊維で、**特殊な材料は再生できる製品が限られている**。

■ジャケット



出典：株式会社鈴木商会

■使用済自動車のリサイクル処理の流れ



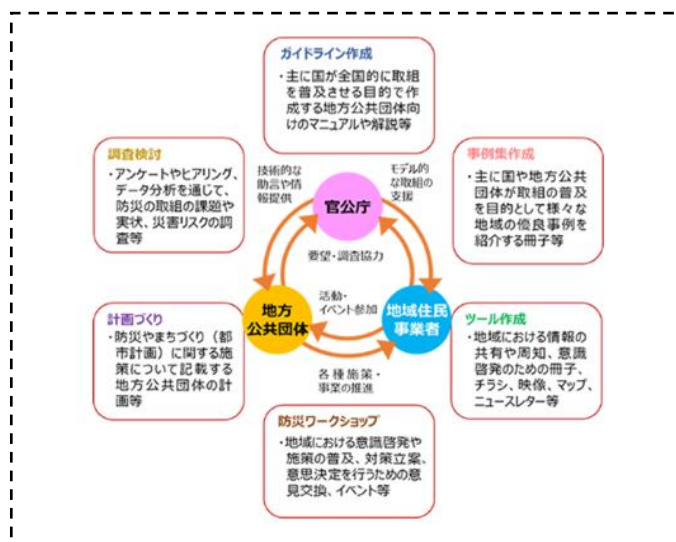
出典：公益財団法人自動車リサイクル促進センター

今後どのようにして再生利用を増やすか

■ 企業の連携強化

- 素材の所有者は、強度や吸水性をはじめ、その素材が持つ**特徴の需要を把握できる機会が少ない**。
- 素材を必要とする先が増え、**再生された商品の幅が広がる**ことが理想である。
- **「素材の所有者」と「素材の特徴を求める企業」のマッチングを進め**、素材はそのままに防災などの役割や機能を持たせて活用先を広げる。

■ 防災のためにできること



出典：株式会社日本能率協会総合研究所

■ 防災用ジャケット例 – 高視認3WAY 防寒コート



出典：ピースアップ

求められる商品開発で自動車リサイクル100%を目指して

■ 参照・引用資料

- 環境省,「環境白書」,2022年8月5日参照 (<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/r02/html/hj20020301.html>)
- 日本自動車工業会,「四輪車」,2023年4月24日参照 (https://www.jama.or.jp/statistics/facts/four_wheeled/index.html)
- チューリッヒ保険会社,「自動車税が高くなるのは新規登録から13年を越えた車」,2019年9月4日 (<https://www.zurich.co.jp/car/useful/guide/cc-car-tax-after13years/>)
- 経済産業省,「自動車リサイクル法ってどんな法律?」,2023年4月24日参照 (https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/automobile/automobile_recycle/about/recycle/recycle.html#q01)
- 経済産業省・環境省,「自動車リサイクルの現状」,2020年8月19日 (https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/haikibutsu_recycle/jidosha_wg/pdf/048_04_00.pdf)
- 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会、自動車リサイクルワーキンググループ、中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会合同会議,「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」,2021年7月 (https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/haikibutsu_recycle/jidosha_wg/pdf/20210727_1.pdf)
- 外川健一,「論説 自動車リサイクル法の3回目「見直し」に関する予備的考察」,2021年
- 奄美新聞社,「不法投棄の車を撤去」2022年2月7日 (<https://amamishimbun.co.jp/2022/02/07/36195/>)
- 株式会社鈴木商会,「【プレスリリース】『使い終わったエアバッグに、新しい命を』 廃棄自動車から取り出したエアバッグを、社員のユニホームとしてアップサイクル」,2022年2月16日 (<https://www.suzuki-shokai.co.jp/news/press/2231.html>)
- ハーチ株式会社,「廃棄エアバッグをアップサイクルした「MA-1ジャケット」が登場!」,2022年3月2日 (<https://lifehugger.jp/news/upcycling-reuse-jacket/>)
- 公益財団法人自動車リサイクルセンター,「使用済自動車のリサイクル処理の流れ」,2023年4月24日参照 (<https://www.jarc.or.jp/automobile/mechanism/recycleflow/>)
- ピースアップ,「着るだけで発熱 昼夜を問わず視認性が高いハイエンドタイプ 3WAY高視認消防防寒コート 消防寒」,2023年4月24日参照 (https://www.bowsai.net/c/firefighting_rescue_security/firefighter-clothes_uniforms/sh000021)
- 株式会社日本能率協会総合研究所「防災・減災まちづくり」,2023年4月24日参照 (<https://www.jmar.co.jp/job/public/lla.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。